

ジュニアフットサルフレンドリーマッチ/フットサル大会 ローカルルール

【1. 競技者数】

- ・1チーム5人。そのうち1人はゴールキーパーで、GKはユニホームの色を他の競技者と変える。
- ・**選手交代は審判に申請しなくても行える。インプレー中でも可能。**
- ・1度交代で外に出た選手でも再び交代してプレーする事ができる。

【2. 競技方法】

- ・日程、時間によってその都度変わる(基本的には7分か6分1本を総当たり)

【3. ボール】

- ・公認フットサルボール使用(ローバウンドボール・3号球)

【4. ゴール】

- ・高さ2m、幅3m。ハンドボールゴールと同一サイズ。

【5. 競技者用具】

- ・スパイク不可。人工芝用トレーニングシューズまたは、室内アップシューズを使用すること。
- ・ユニフォームはできる限りチームで統一。(無ければ主催者側でゲームベストを用意します。)
- ・ケガ防止の為、レガースは必ず着用すること。

【6. 反則】

キックオフからは、直接得点することができない

〈直接フリーキックとなる反則〉 → 相手選手は、5m離れなければならない。

- ・キッキング、トリッピング、プッシング、ストライキング、ホールディング、ジャンピングアット、バックチャージ、ハンドリング、ショルダーチャージ、スライディングタックル等。

〈間接フリーキックとなる反則〉 → 相手選手は、5m離れなければならない。

- ・非紳士的な行為、オブストラクション。
- ・キックイン・フリーキック・コーナーキック・ゴールクリアランスを4秒以内に行わなかった時。
- ・**GKが4秒以上ボールをキープした場合。**
- ・味方からGKへのバックパス(直接・間接フリーキックからのバックパスも同等)をGKが手で扱った場合。
- ・**味方からのGKへのパスは足で触れるのは何回でもOKとする。**
(但し、4秒以内にボールを離さないと相手ボールになる。)
- ・ペナルティエリア内で守備側の反則があった場合、その地点から最も近いペナルティエリアライン上から行われる

【7. ペナルティキック】

- ・キッカー以外はペナルティエリアからでなければならない。またキッカー以外の選手はペナルティマークから後方へ5m以上離れなければならない。

【8. キックイン】

- ・ボールがタッチラインから外に出た場合は相手側選手のキックインで競技が再開される。
- ・キックインはタッチライン上または外側25cm以内にボールを完全に**静止させてから4秒以内**に蹴るが、走りこんで蹴ってもよい。
- ・相手選手は5m以上離れなければならない。
- ・キックインからの直接ゴールは認められない。
- ・**キッカーの立ち足はライン上またはラインの外に置かなければならない。**
- ・**ラインを完全に踏み越えて蹴った場合にはその地点から相手側のキックインとなる。**

【9. ゴールクリアランス(キーパースロー)】

- ・ボールが攻撃側の選手に最後に触れてゴールラインから出た場合はゴールクリアランスにより競技を再開する。
- ・方法はGKがペナルティエリア内から手で投げる。これはゴールキックの代わりである。
- ・ボールがペナルティエリアから出たときにインプレーとなる。
- ・ゴールクリアランスからのボールが相手ゴールに直接入っても得点にはならない。

【10. GKのプレー】

- ・キーパーがインプレー中にボールを取ったときは手で投げるか、蹴ることができる。
- ・ノーバウンドでハーフラインを越えた場合、相手チームにハーフライン上から間接フリーキックが与えられる。
(インプレー中でのGKのキックもノーバウンドで越えたら相手の間接フリーキックとなる。)
- ・**※パントキックはファール、ドロップキックはOK(ボールを一度地面につけてから蹴ったもの)**
- ・ペナルティエリア内でのゴールキーパーのスライディングタックルは危険でない限り許される。
- ・GKはペナルティエリアを出てプレーしてもよい。(当然ながら手は使えない)但し、手の場合と同じ様に足でも4秒越えてキープする事ができない。(4秒以内に相手コート内に入れば4秒は無効となる。)

【11. コーナーキック】

- ・コーナーエリア内にボールを静止させて蹴る。
- ・直接ゴールすることができる。
- ・相手側選手は5m以上離れなければならない。
- ・コーナーキックでの違反があった場合は相手のゴールクリアランスから始まる。

【12. 4秒ルール】

- ・キックイン、フリーキック、コーナーキック、**ゴールクリアランス**などのリスタートは4秒以内に行わなければならない

【13. その他】

- ・(財)日本サッカー協会フットサル競技規則に準ずる。
- ・代表者は、参加者全員にルール説明をした上で、参加してください。